

**第3期八戸市中心市街地活性化基本計画
平成30年度定期フォローアップ報告書に対
する意見書**

令和元年5月

八戸市中心市街地活性化協議会

意見書

当市中心市街地においては、八戸市中心市街地活性化協議会並びに八戸商工会議所、(株)まちづくり八戸及び行政や中心市街地関係者等が連携しながら、官民一体となって中心市街地活性化に取り組むことができた。

平成 30 年 7 月には三日町の路線価が 25 年ぶりに上昇に転じ、9 月には同じく基準地価が青森県内市町村の中心市街地で唯一上昇し、不動産取引の活発化など、これまでの事業の成果が目に見える形で表れてきている。

近時の主な事業としては、「八戸まちなか広場 マチニワ」が平成 30 年 7 月にオープンしたほか、完工前に分譲住宅が完売した八日町地区複合ビル、本年 8 月に竣工記念イベントを予定する八戸市長根屋内スケート場、平成 31 年度中に完工を予定する花小路整備事業、青森銀行と協調開発が進む八戸市新美術館など、街の様相は大きく変化している。こうした流れを止めることなく、既存ストックの活用も含めながら、官民による各種施設の整備後を見越した回遊性向上、賑わいの面的展開、商業機能の拡充施策支援などの重要性は一層高まっている。

なお、平成 30 年 11 月に認定を受けた、第 3 期基本計画で掲げた目標指標のうち「歩行者通行量」「空き店舗・空き地率」については前年度より数値は下降しており、八戸市におかれましては、要因等について調査・分析し、数値目標達成に向けて対策を講じるべきと考える。

八戸市中心市街地活性化協議会

会長 福島 哲 男